

媒体名	ヘルスライフビジネス	掲載日	2009年7月1日
タイトル	インタビュー「ビフィズス菌を選択的に増やすプロピオン酸菌」 仏・CGD社 マリー・パスカル・ルプレイ・ルグラン社長に聞く		

## ビフィズス菌を選択的に増やすプロピオン酸菌

**仏・CGD社**  
マリー・パスカル・ルプレイ・ルグラン社長に聞く

ハードタイプのナチュラルチーズに含まれるプロピオン酸菌が近年、注目を集めている。人が生まれながら持つビフィズス菌を選択的に増やすことが明らかになっていくが、ではいったいどのような機能性を持っているのだろうか。ハードチーズ製造に用いる食品微生物メーカーで、プロピオン酸菌の世界シェア70%を誇る仏・CGD社のマリー・パスカル・ルプレイ・ルグラン社長の来日を期に、プロピオン酸菌について本紙記者が単独インタビューした。

### ナチュラルチーズに含まれるプロピオン酸菌

薬学博士でもあるマリー・パスカル・ルプレイ・ルグラン氏は、フランスの自然食品・健康食品の業界団体「SYNADIEET」の副会長でもあり、学識的な知識と経験、欧州諸国のマーケティング情報にも精通している。

——腸内のビフィズス菌バランスは、一人ひとり異なっていますが、ハードタイプのナチュラルチーズに含まれるプロピオン酸菌の訴求点は何ですか。



ルプレイ 人が持つ、その人自身のビフィズス菌を増やすという全く新しい独自の個性です。今までは経口摂取により、外部からビフィズス菌を入れていたものが、プロピオン酸菌は

その人が腸内に持っているビフィズス菌を増やすことが最大の訴求ポイントです。

人は生まれたときから腸内にビフィズス菌を持っていますが、そのビフィズス菌は人によってそれぞれ異なるものです。子供のとき、大人になつてから、年をとつてからでは、同一人物でもビフィズス菌のタイプが全く異なるものになります。

外部から特定の菌を入れても、その人のビフィズス菌のタイプに適合するかどうかは分かりません。プロピオン酸菌はその人のビフィズス菌そのものを増やす働きを持っています。

### プロピオン酸菌の臨床データ

——臨床データはどんなものがありますか。

ルプレイ 18名に「プロピオフィズス原末」を15日間毎日1錠ずつ摂取してもらい、ビフィズス菌の量を測定した結果約10倍に増えたという研究データがあります。

一度に15錠という大量摂取によって、食中毒にも改善効果があったという体感例もあります。また、便秘や下痢、便臭、栄養吸収などを改善するデータも蓄積しています。

さらに、免疫賦活についても新たな研究を行っています。また、ヒト臨

床のレベルまで達していませんが、免疫のメカニズムを研究しています。ビフィズス菌が増えることに加えて、プロピオン酸菌自体にも免疫賦活作用があるのでないかと考えられています。

### フランスでは自然療法医や薬局などで販売

——フランスでの販路を教えてください。

ルプレイ オーガニックショップなど自然食品店、薬局、パティスリー・フィディシヤンと呼ばれる自然療法医などが主な販路になります。現在は医師やその関係者がプロピオン酸菌を薦めています。

フランスでは、かつては医師は医薬品だけを薦めていたが、現在はサプリメントと食事療法を薦めることが多くなっています。

◇ プロピオン酸菌の日本における総販売元はニユートリション・アクト（東京都港区、03-5475-7313）。

一人ひとりが持っている  
ビフィズス菌を増やすことが  
最大の訴求ポイント